

【演習】⑥総合演習 (応用)

1 次の計算をなさい。

(1)  $-14 - (-12) + 3$

(2)  $-10 + (-2) - (+4) - (-13)$

(3)  $-6 + 4 \times (-3) \div (-2)$

(4)  $38 \times (-25) - (-25) \times 36$

(5)  $-\frac{2}{3} - (-\frac{1}{5}) + (-\frac{5}{6}) + 1.2$

(6)  $\{-(-4) - (+3)\} - 3 \times (-1)$

(7)  $-3^2 - 5 - (-2)^2$

(8)  $(-2) \times (-\frac{4}{3}) \div (-\frac{10}{3}) \div (-2^3)$

(9)  $\{-4^2 - 6 \times (-2)^3\} \times (-\frac{1}{4})^2$

(10)  $(-\frac{5}{7}) \times 14 - (-\frac{5}{7}) \times 12 + (-\frac{5}{7}) \times 5$

2 次の各問いに答えなさい。

(1) 絶対値が  $\frac{35}{6}$  以下の整数は何個ありますか。

(2) ある整数 A の絶対値が 6 で、整数 B の絶対値が 8 のとき、 $A-B$  のとりうる最大の値はいくつですか。

(3)  $-1\frac{1}{3}$  より小さい最大の整数を答えなさい。

(4)  $a > 0$ 、 $b < 0$  のとき、 $a-b$  及び  $a \times b$  の正負をそれぞれ答えよ。

(5)  $\frac{1}{3}$ 、 $-\frac{3}{4}$ 、 $-1.65$ 、 $1\frac{3}{5}$ 、 $0$  の 5 つの数を絶対値の小さい順に並べよ。

3 下の表は、A から F の 6 人の身長について、C の身長を基準にして身長の差を表したものである。この表について以下の問いに答えよ。

	A	B	C	D	E	F
Cとの差 (cm)	1	-2	0	4	-3	6

(1) 身長の最も高い人と低い人との差は何 cm ありますか。

(2) D は E より何 cm 高いですか。

(3) C の身長が 160cm のとき、この 6 人の身長の平均を求めよ。

4 A君とB君はさいころを投げて得点を争うゲームをした。  
得点は、偶数の目が出ると3点もらえ、奇数の目が出ると2点引かれる。  
次の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) A君はさいころを6回ふり、出た目の数はそれぞれ3、6、2、1、4、4であった。  
A君の得点を求めよ。

(2) B君はさいころを20回ふって、出た目の得点は25点であった。  
このとき、奇数の目は何回出たか求めよ。

5 次の表は、ある週の平均気温を、毎日午後2時に測定し、前日の気温との差をそれぞれ表したものである。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
前日との差(°C)	+2	-3	-1	+4	+7	-2	-6

この表をもとに、それぞれ次の問いに答えなさい。

(1) 水曜日の気温が18°Cのとき、土曜日の気温は何°Cですか。

(2) 気温が同じだった曜日は、何曜日と何曜日ですか。

(3) 気温が最も高かった曜日と最も低かった曜日の差は何°Cですか。